

経営比較分析表（令和3年度決算）

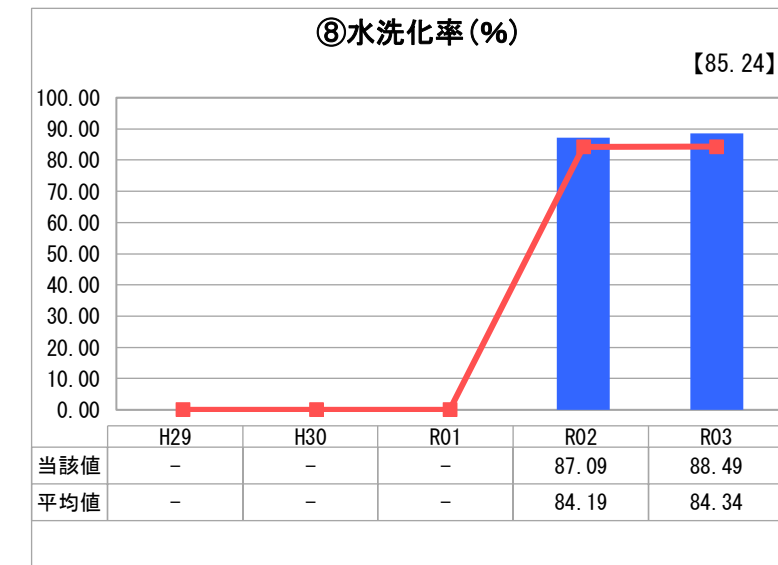
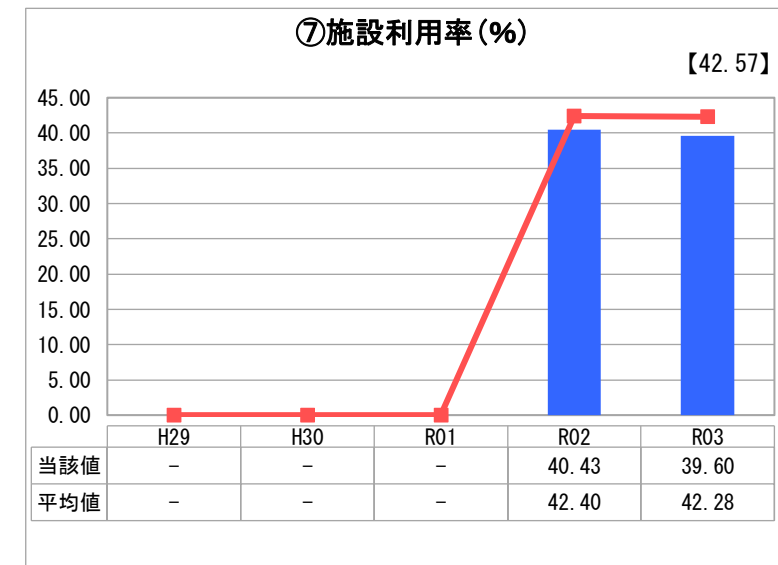
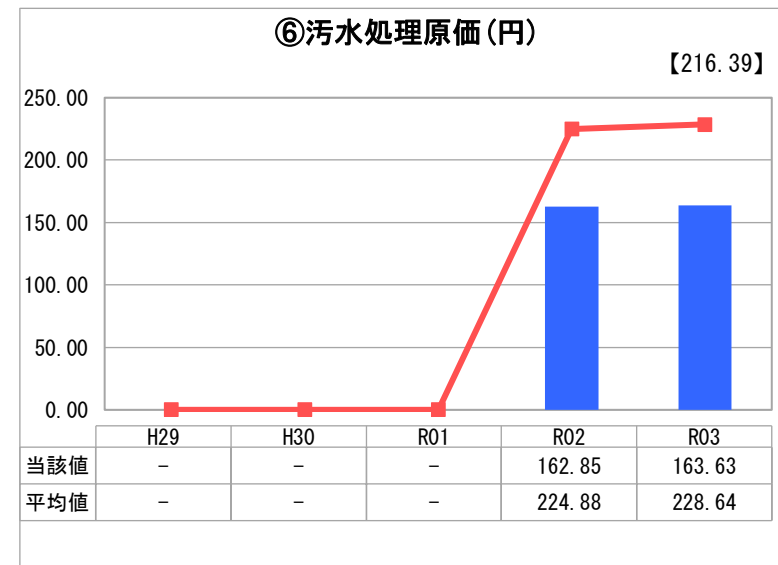
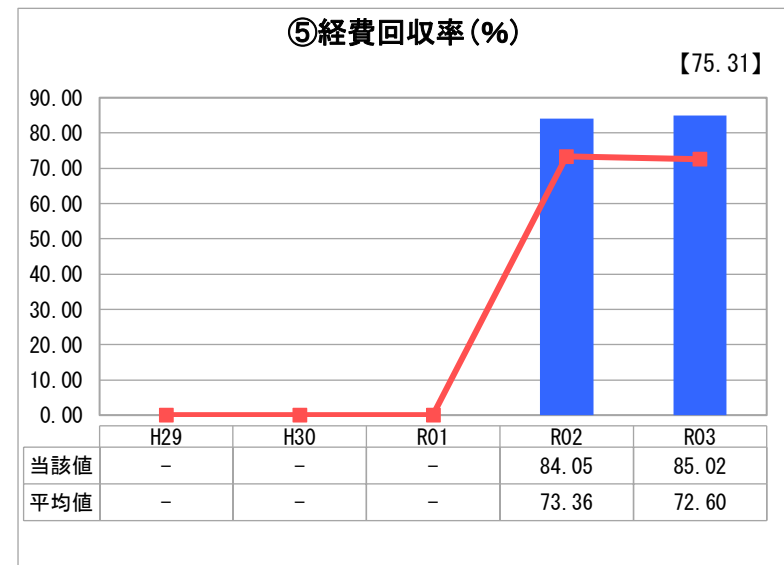
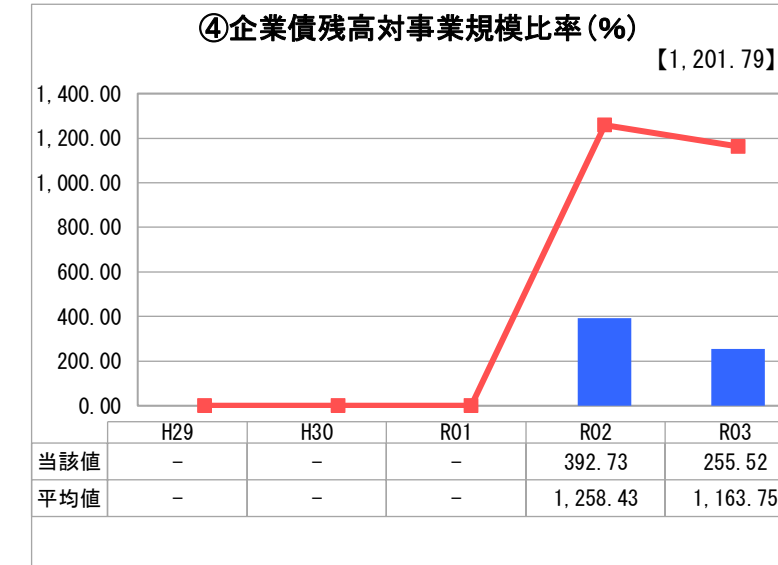
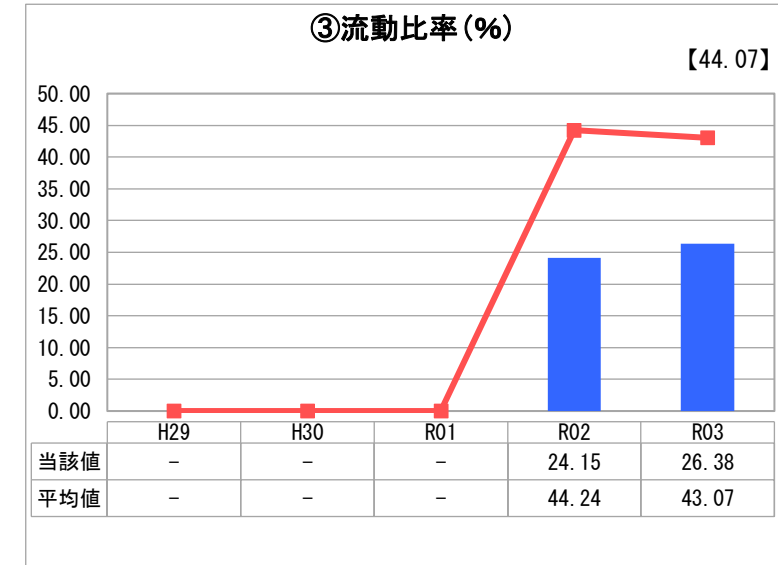
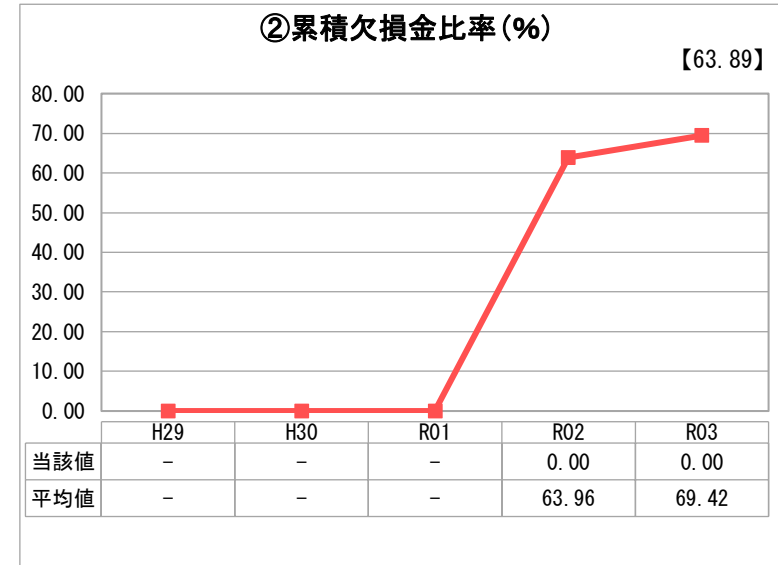
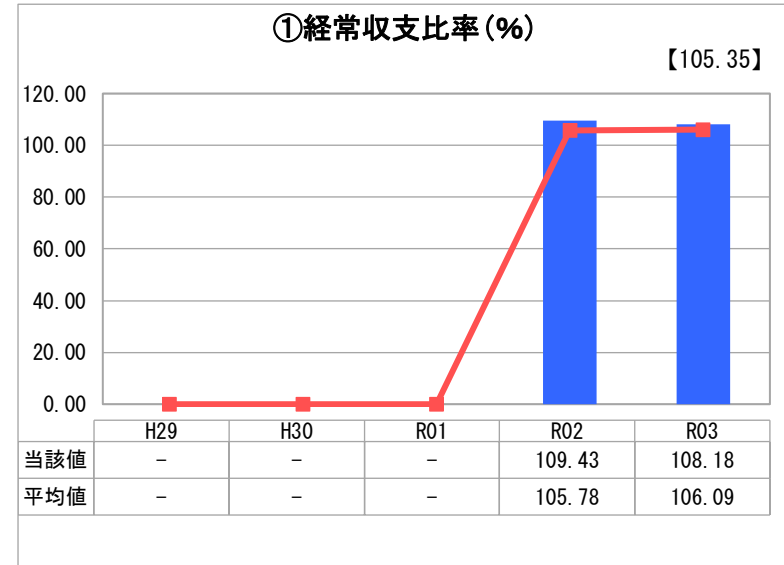
鳥取県 伯耆町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.94	40.99	100.00	3,960

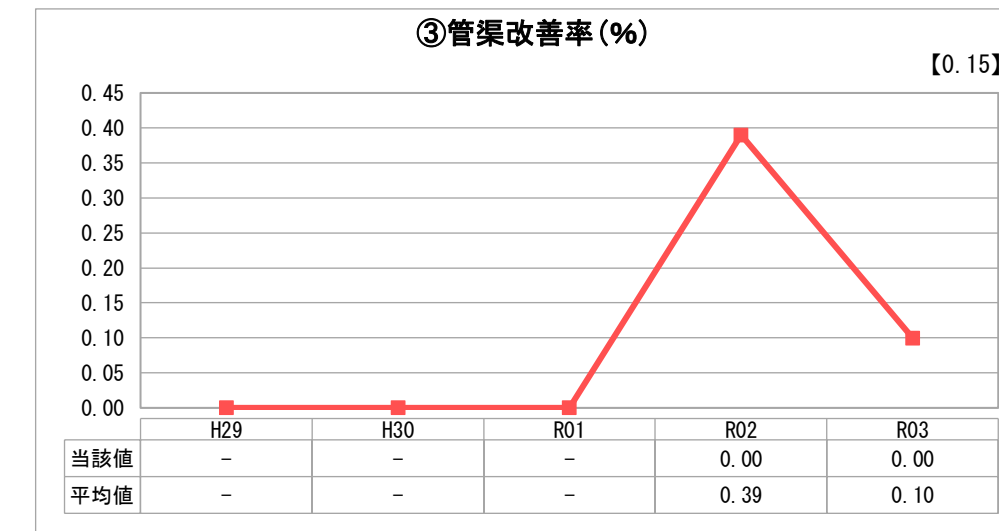
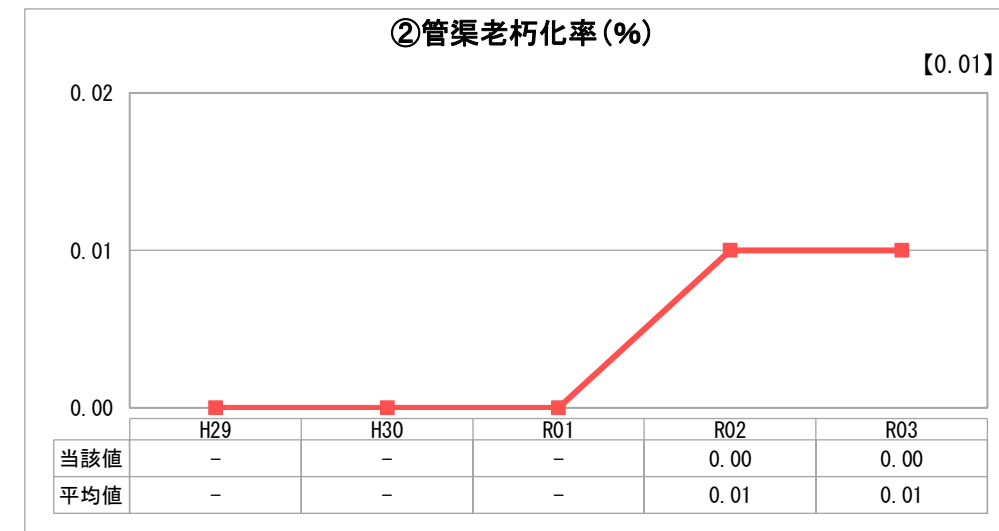
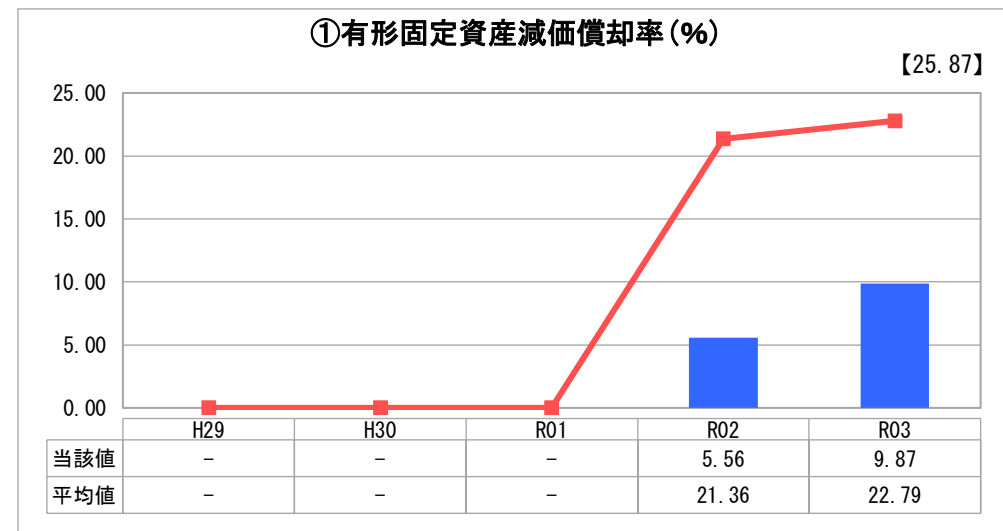
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,624	139.44	76.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,326	1.42	3,046.48

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
100%を上回っており、単年度の収支は健全性を保っている。
- ② 累積欠損金比率
流動負債の大半を占める企業債償還を、主に一般会計からの繰入金等により賄っていることによるもので、支払能力に問題が生じる見込みはない。
- ③ 流動比率
類似団体平均を下回っているが、企業債償還に係る一般会計の負担によるものである。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
類似団体平均を上回っているものの、100%を下回っており、適正な使用料収入の確保を図るとともに汚水処理費の削減が必要である。
- ⑤ 経費回収率
類似団体平均より下回っているが、引き続き投資の効率化や維持管理費の削減などを図る必要がある。
- ⑥ 汚水処理原価
計画時からの人口減により、全国平均・類似団体平均と同様、施設の稼働に余裕がある状態である。
- ⑦ 水洗化率
全国平均・類似団体平均を若干上回っている。今後も水洗化率向上に向けた啓発を行いたい。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
全国平均・類似団体平均を大きく下回っており、老朽化の度合いは比較的少ない。
- ② 管渠老朽化率、③ 管渠改善率
管渠については、現在まで不具合もなく、法定耐用年数に達するまで期間がある状態である。計画的な更新については、経営戦略の見直し時期にあわせて検討を行うものとする。

全体総括

法適用事業2年目の決算数値となっている。引き続き健全な事業経営に取り組む。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。